

外国語活動 活動報告

燕市西蒲原郡小学校教育研究会
外国語活動部

1 研究主題

『コミュニケーション能力の素地を育てる授業のあり方』

2 研究の概要

(1) 第1回 出前授業と講演会

期日：6月1日（水） 会場：分水小学校 視聴覚室

①講師 上越教育大学准教授 石濱 博之 様

②演題 小学校外国語活動の授業づくりと教員の指導力向上

③内容

ア 出前授業の概要（6年生 28人）

「I can play～ ,Can you play～?」という活動を、言ってみたり、聞く話すことを促すことをねらったりして行われた。児童の興味関心を引き出しながら、自然な流れで、楽しい雰囲気の中で進んだ。

イ 講演会の概要

『外国語活動の授業作り～だれでもできる、役立つ、楽しい、外国語活動～』というお話をお聞きした。出前授業と関連づけながら、ある程度、授業展開の枠組みを作り固定化すると、やりやすくなる。固定化の例としては、greeting-song-reading-review-main topic-game or activity -greeting-reflection を教えていただいた。



I can play baseball

(2) 第2回 授業研究（11月）

期日：12月1日（水） 会場：燕西小学校 6年教室

①授業者 燕西小学校 佐々木 美枝 先生

②指導者 燕市教育委員会 嘱託指導主事 相馬令子 様

③内容

ア 授業の概要

英語ノート2『一日を紹介しよう』（本時1/4）英語での時刻の言い方を知ることがねらい、時刻の言い方や尋ね方を知り、それを使った練習、カルタゲーム、ペア探しゲームを行った。子どもたちは、意欲的に英語ゲームに取り組み、発話していて、ねらいに迫る授業であった。

イ 協議・指導の概要

クラス担任が一人で行う外国語活動の場合、パペットが有効である。できるだけ言葉少なめにして、同じ言葉を繰り返すことで、英語があふれている授業になった。ペア探しゲームを担任一人で見取るためには、人数や時間の制限をつけるとよい。ゲームの勝敗は「何回言ったか」を基準にすると、活動を促すことができる。



パペットが有効